



# 萌木 10月

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和5年10月11日発行

## 計画を立てる力

校長 山田 勝

2学期は中間考査・期末考査と定期考査が2回あり、その間を縫うように多くの行事取り組みが計画されています。定期考査では、生徒たち一人一人が学習への取り組みの成果を確認する機会として、計画的に取り組めます。また、校外での活動を含め行事では、自分たちで計画を立て実行することにも取り組み、仲間と協力するとともに未来を見通して行動することの大切さを学ぶ機会としています。

中間考査を挟み、各学年では校外での活動に取り組みました。

2年生は9月12日から14日にかけて、3日間職場体験に取り組みました。学校と違い、オープンな社会の中での学びの機会に、あいさつの大切さや、真剣に人と接する態度などを学び、実り多い体験でした。実施前には、体験先様にご迷惑をおかけしないか心配でしたが、それぞれの職場で真剣に取り組んでいる姿に、各自の成長を知るよい機会となりました。

1年生は9月15日の午後、調布調べで班ごとに決めた市内24か所の事業者様を訪問し、働くということと地域で実践されているSDGsの取り組みを調べてきました。

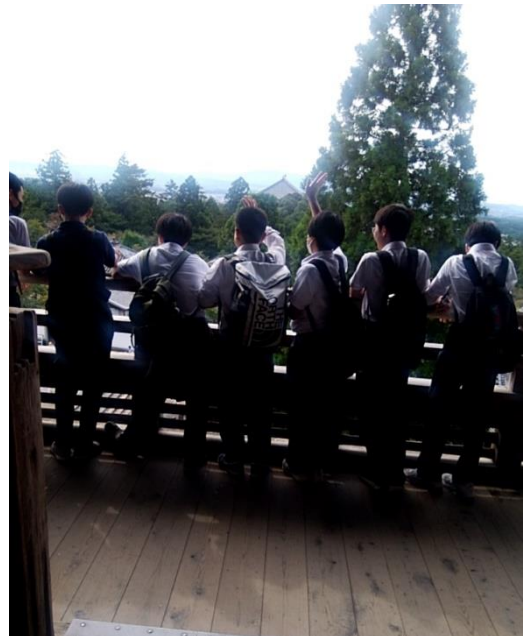
はしうち教室は9月27日から29日まで木島平を移動教室で訪れました。自然や人との出会いに、改めて自分の大切さを感じる経験ができました。

3年生は10月3日から5日まで修学旅行で京都奈良を訪れました。国領駅から東京駅までが始めの班行動でしたが、どの班も集合場所についた時に晴れやかな顔をしていて、修学旅行の3日間の行動の成功を予感させてくれました。奈良や京都でも、期待通りの計画性を持った行動に、3年生の成長を見せてもらいました。集団での生活・活動の中で協力する姿勢を持つとともに、各自の抱える課題解決にも個々で取り組んでおり、集団の中の自分を意識しながら活動する力も身に着けられたと思います。

七中では、学年が上がるにつれ計画を立てる力が磨かれ、仲間を大切に行動できるようになってきています。まさしく、今年の3年生も「七中の3年生」に成長してくれました。

学年ごとに取り組んだ校外での行事を通し、それぞれの段階に応じ身に着けた計画を立てる力を他の場面、例えば合唱コンクールへの取り組みとか期末考査への取り組み、3年生であれば進路への取り組みに活かす姿勢を、活かしてみようとする姿勢を持って、各自の成長につなげていけるとよいと思います。

そのためにも、生徒たちが自ら考え判断する過程を大切に、情報過多となるこの社会において、本当に必要な情報を見極める力を身に着ける学びを大切にしていきたいと思います。また、周りにいる大人として、経験しているからこそわかっていることをそのまま伝えるのではなく、生徒たちが自ら考える余裕を持ちたいものです。



【二月堂から大仏殿を望む七中生】